

## トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



## 新作紙芝居「雨水のぼうけん」

## デジタル版を作成

【箕面森林ふれあい推進センター】



© 森林ふれあい推進センター，矢放七海

箕面森林ふれあい推進センターでは、このたび、森林環境教育等に使用できる新作紙芝居『雨水のぼうけん』デジタル版を職員の手作りで作成しました。

この紙芝居は本編 15 枚で構成されたもので、森が水を貯め、きれいな水を育む仕組みを楽しみながら学べる内容となっています。

この物語は、小学生のユウちゃんが、おばあちゃんの家で飲んだ水がとてもおいしく感動し、なぜこの水がおいしいのか疑問に感じたところから始まります。

ユウちゃんが雨粒の妖精になって、森にふりそそぎ、木の葉っぱからスポンジのような森の地中に降りて様々な探検をします。その途中で、疑問の答えを見つけたり、森が水を貯め、きれいな水を育む仕組みなどを体験を通して学習し、地下水となっておばあちゃんの家のおいしい飲み水としてたどり着くという物語です。

© 森林ふれあい推進センター，矢放七海



© 森林ふれあい推進センター，矢放七海

森と水の関係についての学習は、小学5年の社会及び小学6年の理科で取り扱われているため、その補助教材としても最適ですが、小学校低学年の児童でもわかりやすい表現で統一されており、幅広い学年で使用できます。

当センターが取り組む森林環境教育に積極的に使用するとともに、当局ホームページ等で公表し、学校関係者や森林環境教育に取り組んでいる各団体に活用して頂くことを期待しています。

## 箕面国有林（大阪府箕面市）の特色を活かした、地域のNPO団体や教育機関と連携した森林環境教育（森林ESD）など地域の課題解決に向けた多様な活動

また、当センターでは、都市部に近接し観光や野外活動などのレクリエーション利用が多い箕面国有林（大阪府箕面市）の特色を活かして、地域のNPO団体や教育機関と連携した森林環境教育（森林ESD）、里山再生、森林の獣害対策など地域の課題解決に向けた多様な活動を行っています。



【R1.9.20「森の探検隊」（この木の年齢は？）】

特に、箕面国有林「エキスポの森」内で取り組んでいる「オオクワガタの棲（す）める森づくり」のフィールドを活用した、『森の探検隊』（ポイントを回りながら自然に関する質問を解いていく学習プログラム）を当センターで開発し、箕面市内の小学生や教員等に体験してもらっています。具体的には、子どもたちが学びたいと思うポイントを自分達で選び、問題に対する答え等を導き出していくことにより、理科・社会・算数・国語・道徳などを総合的に学ぶことができる内容となっています。

さらに、令和元年12月、箕面森林ふれあい推進センターは地域ESD活動推進拠点（ESDを支援・推進する役割を担う組織）として登録され、令和2年3月には、当センターの開発した森林環境教育プログラム『森の探検隊』が「土曜学習応援団」（文部科学省が運営する取組）のサイトに掲載されています。

今後、これらの登録をきっかけとして当センターの活動を積極的にPRしていきます。最後に、当センターでは、新型コロナウイルス感染リスクに気をつけるべく森林環境教育等の開催に当たっては、「新しい生活様式」の実践をはじめとした感染拡大防止策を講じた上で取り組むとともに、新たな発想に基づきウェブ授業等に対応できるソフト作りにも取り組んで参ります。



【R1.9.20「森の探検隊」（池に何かいるよ!!）】

# 「箕面の山パトロール隊」への農林水産大臣賞の表彰式 が開催されました。

## 【保全課】

一般社団法人全国森林レクリエーション協会（会長：三浦雄一郎）が主催する第32回「美しい森づくり活動コンクール」において、「箕面の山パトロール隊」が農林水産大臣賞を受賞されました。



【長田局長から村上隊長への表彰状授与】



【長田局長と村上隊長】



【副賞の色紙、本、額縁】

例年は東京で開催される表彰式ですが、今回は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、推薦団体（近畿中国森林管理局）より伝達する形となり、6月20日、「箕面の山パトロール隊」の活動拠点である箕面市森の案内所瀧道・ふれあい広場において、当局の長田局長より隊長の村上様に「農林水産大臣賞」が授与されました。

局長からは、「隊の結成以来長年にわたり箕面の山の自然環境を美しく保つ活動に精力的に取り組まれ、活動の発展に御尽力されてきたことは、まさに農林水産大臣賞にふさわしい。」など隊のこれまでの活動に敬意を表する祝辞があり、村上隊長は「隊員の皆さんに支えられてここまでやってくることができました。今後も箕面の美しい山を守っていきたい。」との感謝の言葉を述べられました。



【村上事務局長から活動の紹介】

また、事務局から、毎月多数の登山コースの清掃活動を行っていること、活動の甲斐あって近年ゴミの量が減ってきていることなどの活動紹介が行われました。

当日は、天候にも恵まれ、多くの隊員にも集まっただき、関係者皆さんで受賞をお祝いすることが出来ました。



【受賞した賞状】



【参加者全員での記念撮影】

## 「小林式誘引捕獲法」の罠設置 実演会を行いました。

【広島北部森林管理署】



【罠設置に係る講演の様子】

広島北部森林管理署では、神石高原町の森林(国有林、民有林)において、林業関係者らが連携し、より効果的なシカ捕獲に向け関係機関と調整を進めています。

6月25日(木)神石郡森林組合会議室において、近畿中国森林管理局が重点的に勧めている「小林式誘引捕獲法」の罠設置に係る講演と、設置の実演会を行いました。



実演会には、神石高原町 【罠設置に係る講演の様子】の獣害担当者、猟友会、森林組合など総勢26名が参加し、近畿中国森林管理局保全課の小林保護係長(「小林式誘引捕獲法」の発案者)が、小林式誘引捕獲法の仕組みや、設置に当たっての留意点、具体的な設置場所の選定基準など、多岐にわたって詳細な説明と実演を行いました。



【罠設置の実演の様子】

参加者からは、「どの頻度で捕獲できるのか」「ワイヤーのメンテナンスの周期は」など、多くの質問が出されました。



【罠設置の実演の様子】

広島北部森林管理署では、今回の実演会での意見や、神石高原町での駆除態勢などを踏まえ、必要な罠を準備するとともに、神石高原町、神石高原町有害鳥獣捕獲対策協議会、神石郡森林組合、森林整備センター中国四国整備局広島水源林整備事務所と広島北部森林管理署との5者間でシカ捕獲のための協定締結を目指します。

## 庄原実業高校と森林環境教育の 進め方について調整しました。

【広島北部森林管理署】

広島県森林組合連合会と広島北部森林管理署は、昨年度から取り組んでいる広島県立庄原実業高校環境工学科への森林環境教育について、6月26日(金)庄原実業高校の先生と今後の具体的な進め方について調整しました。



【庄原実業高校との打ち合わせの様子】

これまでの専門教科を補完する分野の講義、現場実習に加え、令和2年度からは新たに林業体験ツアー、高性能林業機械展示会への参加、チェーンソーなど林業に必要な資格取得のための研修会などについて取り組むべく学校行事との調整を図りながら進めていくこととしました。

広島県森林組合連合会と広島北部森林管理署では、できる限り多くの生徒に、林業にふれあい、林業に関心を持つよう様々な機会を提供していきたいと考えています。

【昨年11月に行った森林環境教育の様子】



## 「美しい森づくり活動コンクール」で 安宅小学校が奨励賞を受賞しました。

### 【石川森林管理署】

小松市立安宅小学校は、林野庁の「国民参加の森林づくり」制度を利用して、平成15年に安宅林国有林において児童の情操教育を目的に体験活動を行う「遊々の森」協定を石川森林管理署と締結し、現在までクロマツ海岸林の維持・保全活動として植樹や松葉かきを実施してきました。また、林内にはサイクリングロードが設置されており、持久走大会のコースとしても活用されています。加えて、この場所は林野庁の日本美しい森 お薦め国有林（レクリエーションの森）※安宅林風景林でもあります。



【記念撮影：中島署長、広見校長、新名教頭】

このたび、安宅林風景林を含めたそれらの活動が認められ、(一社)全国森林レクリエーション協会の第32回森林レクリエーション地域「美しい森づくり活動コンクール」で奨励賞を受賞しました。広見理恵校長は今回の受賞において、「これまでの活動を評価されて大変光栄です。これからも活動を続けていきたいです。」と述べられました。

石川森林管理署としても安宅小学校の活動がより良いものとなり、継続していけるようこれからも協力していきます。

### ※安宅林風景林

国有林野の豊かな自然環境を積極的に活用するため、名所、旧跡等と一体になって景勝地を形作られている安宅林国有林の一部(6921ha)は安宅林風景林というレクリエーションの森であり、平成29年に「日本美しい森 お薦め国有林」に選定されています。

## 第74回 大山夏山開き祭 安全 祈願神事に参加しました。

### 【鳥取森林管理署】

令和2年6月7日(日)、大山夏山開き祭 山頂祭神事に当署を代表して署長が参加しました。



【神事会場】

当行事は例年、大山山頂碑前で執り行われますが、今年は、山頂碑・山頂避難小屋が工事中であること、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、麓の夏山登山道近くの大山寺阿弥陀堂横にて行われました。なお、毎年、前夜に行われる「たいまつ行列」は中止となりました。



【神事終了後の奉納台】

当日は、地元関係者ら10数名ほどと参加者を限定しての神事となりましたが、玉串をささげ登山者の

安全と新型コロナウイルスの終息を願いました。

新たな日常の定着などにより、一刻も早く山を愛する県内外の皆様が、不安なく安全に登山を楽しんで頂けるようになることを切に願います。



【初夏の大山を満喫する登山者】



【玉串】

## お知らせ

もり  
森林のギャラリー（局庁舎1階）

## 【技術普及課】

○森のギャラリーについては、新型コロナウイルス感染症対策として当面の間、閉鎖しています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



## 【三重森林管理署】

○大杉谷からの手紙（46通目）を発行しました。その昔、東洋一と言われた大杉谷索道（架線）に焦点を当ててご紹介しています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/mie/oozugitegami.html>



## 【箕面森林ふれあいセンター】

○こだま通信 109号を公開しています。

[https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/booklet/kodamatushin.html](https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/booklet/kodamatushin.html)



## 【広島北部森林管理署】

○かわら版「ひろほく通信」第15号を発行しました。

[http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hirosimahokubu/information/hirohoku\\_tusin/hirohoku\\_tusin.html](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hirosimahokubu/information/hirohoku_tusin/hirohoku_tusin.html)



## 我が署のスタッフ 島根森林管理署

## 小川 佳織(おがわ かおり) (平成29年度採用)

## 【現在取り組んでいる仕事は？】

昨年度から総務グループで経理を担当し、支払・収入事務や物品管理など署の運営にかかわる仕事を行っています。経理の仕事は一見地味な仕事に思えますが、適正、適切な予算執行には欠かせない仕事です。担当になった1年目は、提出された書類の確認や業務を行う上で関係する法令や規則など覚えることが多く、毎日右往左往していましたが、経理担当も2年目に入り少し落ち着いた気持ちで仕事に臨めているのではないかと思います。しかし、知れば知るほど経理の仕事は奥が深く、日々先輩方にご指導いただきながら、勉強の毎日を送っています。

## 【職場の雰囲気は？】

今年で島根署に勤務して4年目になりますが、年々職員の年齢層が若返っている気がします。穏やかな雰囲気、コミュニケーションが取り易いと思います。また、島根県もしくは隣県出身の方が多く、地元の話ができることも島根署の良いところだと思います。

## 【林野庁の魅力は？】

職場内に限らず、さまざまな人と関われることだと思います。高齢化の林業業界ですが、いろんな経験をされ自分の中でのこだわりや熱い思いを持たれている方も多くいます。そうした方々と接する機会があるのは、とても魅力的だと思います。様々な世代、立場の人と仕事をするのは、時にとても大変ですが、自分にとって良い成長の場だと思います。



【事務所で執務中】

## 森林官等紹介

### 広島森林事務所（広島森林管理署）森林官 久保木 孝幸（くぼき たかゆき）

広島森林事務所は、広島市中区に所在し、佐伯区湯来町、安佐北区白木町及び安芸区を除く広島市内の国有林及び※官行造林地を管轄しています。



【牛田山国有林 42 林班より広島駅方向を望む】

広島市は中国・四国地方で最大の人口を有する市で、「平和の象徴」として世界的な認知度も高く、また、近年はスポーツが盛況である等の様々な側面を持った活気のある街です。森林面積は市域総面積の 67%（偶然にも日本全体の森林面積の割合とほぼ同じ）と意外に多いのですが、これは合併後に広島市となった佐伯区や安佐北区等の新市内の森林割合が大きいため、中区や南区等の旧市内の森林割合は小さくなっています。

管内の国有林は市内に点在しており、その多くが、人との関わりが近い「都市近郊林」です。そこで、今回は私が当地に赴任し最も驚いた「住宅等と山との距離の近さ」にまつわる業務内容についてご紹介します。

広島市は「平地が少ない」と言われています。これは立地上、山地部と海に取り囲まれ、平地部は太田川の河口に形成された三角州が中心となり開発適地が乏しいためです。山の裾際まで開発しても土地が不足した結果、山の谷や斜面に向け開発が行われ、必然的に山と人との距離が近い状況が造られました。

補足ですが、「多くの住宅が山に近いこと」「県土の約半分(48%)に花崗(かこう)岩が風化して出来た『まさ土』が広がっていること」「『まさ土』は水を含むと非常にもろくて崩れやすい性質であること」から、土石流や崖崩れ、地滑り等の土砂災害・山地災害が起こりやすく、広島県の土砂災害危険箇所数・山地災害危険地区数はともに全国一位となっています。平成26年8月豪雨や平成30年7月豪雨の惨状は記憶に新しいところです。このように山と人との距離が近いこと、市民の皆様から多くのご意見・ご要望をいただきます。中でも多い



【高所作業車による枝払い作業】



【伐倒作業】



【ワイヤーで倒れる方向を規制しながらの伐倒作業】

のは「危険木の処理」「土砂流出への対応」「境界線の刈払い」です。市民の皆様が少しでも安心して暮らせるよう、職員一丸となり、出来ることは職員で、なるべく迅速に対応することを心がけ、日々奮闘しています。また、令和元年度は以前より要望のあった住宅地等近接箇所を中心に、請負事業で危険木等処理事業を実施し、大変感謝されました。令和2年度においても実施する予定です。

今後も市民の皆様の声に耳を傾け、日々の暮らしに安心・安全を提供できるよう努めて参ります。

※公有林野等官行造林法（大正9年法律第7号）に基づき、国が公有地又は私有地に造林をした分収林であり、林野庁が管理を行っているもの。

# シリーズ『国有林 最前線!』

## 林業の成長産業化に向けて

### 企画調整課

企画調整課は、林政推進、企画調整、監査、情報管理の4つの係があり、県、市町村等との連携、外部への情報発信、予算調整、自然災害対応、監査、情報セキュリティ等、局内の幅広い業務を行っています。その中から今回は2つの取組を御紹介します。

1つ目は、林業の担い手育成に協力するための管内の府県及び林業大学校等関係者との意見・情報交換会です。

昨年度、全国初の取組として実施し、各機関が抱えている課題・問題点等について把握するとともに、「近畿中国森林管理局管内林業大学校等協議会」を設置し、年1回の意見交換を行うことを確認しました。

今後は、協議会を通して各機関からの意見・要望をきめ細かく把握することで、講師派遣や現場実習でのフィールドの提供等のに協力を一層推進していくこととしています。



【林業大学校等意見・情報交換会】



【国有林モニター会議（山口所）城山国有林にて】

このように、企画調整課では、各方面からいただいた情報を森林管理局の各種取組に活かすべく、関係各課と連携して業務を行っています。

2つ目は、一般の方からの意見に耳を傾け、国有林野行政に反映させる国有林モニター事業です。

国有林モニター事業は、平成16年度から開始し、今年度も77名の方に国有林モニターをお願いしています。

広報誌等の内容や日頃から感じていることなど、森林・林業に関する様々な御意見をいただくとともに、当局管内の施業実施箇所を案内し、国有林や森林・林業への理解を深めてもらったうえで意見交換等を行っています。